

～知ることからはじまる国際協力～

「私が難民だったら?」「トモダチが難民だったら?」を体験!



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



プロフィール：
英国の大学院で人類学を学ぶ。国際機関での勤務を経て、2010年 AAR に入職。2012 年から 1 年間ミャンマー事務所駐在。AAR を一度離れ、防災系 NGO、開発コンサルタント会社や大学での勤務を経験した後、2023 年 4 月に AAR に復職。
栃木県出身

講師：林 早苗氏
難民を助ける会 支援事業部主任



世界では紛争や武装勢力による暴力が後を絶ちません。その結果、世界では約一億人以上の人々が難民生活を強いられています。「自分が難民になるなんて思ってもみなかった。」南スーダンの難民の女性はそう語りました。「シリアで今起きていること、私たちのことを忘れないでほしい。」と語るシリア難民の少女。私たちと同じ平和な日常を送っていた人々の生活がどのように断ち切れ難民となっているのか「ウクライナに居るのがもし、私だったら」「私の家族だったら」「私の友だちだったら」・・・世界中で支援を必要としている人々の現状を「自分ごと」として考えられる視点と想像力を養えるワークショップです。今回は 65 を超える国・地域で支援を展開し、現在は 16 か国で活動をしている AAR Japan から講師の方をお招きして行きます。

【日時】 2024 年 4 月 20 日 (土) 9:30~12:00

【場所】 さくらんぼ幼稚園体育館 (宇都宮市松原 2-7-42)

【定員】 40 名程度

【参加費】 500 円 *当日お支払いください。

どなたでもご参加いただけます。小学校高学年以上はおひとりで参加可能ですが、小学校低学年以下の方は保護者様同伴でご参加ください。小さなお子様連れの方も参加可能です。

お申し込みはこちらから
4月12日(金)までに
お申し込みください。

